

令和2年度 前期始業式 校長あいさつ (R2.4.8)

皆さん、おはようございます。只今から、兵庫県立西宮高等学校 令和2年度前期教育課程を開始します。

今年の桜の開花は、平年よりかなり早いと伝えられていましたが、ここ学園花通りの桜は、本日の始業式・入学式を待っていてくれたかのように満開となりました。しかし、新型コロナウイルスの急速な感染拡大により、昨日、安倍総理から兵庫県を含む7都府県に緊急事態宣言が発令され、最悪の事態となっています。この宣言を受け、県立学校はGWの5月6日まで、臨時休校を延長することになりました。

この対応の趣旨は、今から感染拡大防止の対策を最大限、徹底的に実行しなければならないということです。「今、社会で何が起きているかをしっかりと理解し、本気で強い危機意識を持ち、主体的に判断して行動する大人になる」、これこそが今、皆さんに求められていることです。つまり、小池東京都知事も言われる「家族を守るため、大切な人を守るため、社会を守るため」、覚悟を持って行動を変えなければなりません。

ここで、担任の先生から配られたプリント、「緊急事態宣言を踏まえた県立学校における春季休業明けの取り扱い」について、本校の対応について説明をします。筆記具を用意して、適宜メモをとってください。なお、この文書は保護者宛てとなっていますので、本日必ず保護者の方にお渡ししてください。

それでは、プリントの本文の下、別記事項「1 登校日」です。今回の臨時休校の延長は、急速に感染の拡大が広がっている地域を対象としたもので、このまま学校を再開すると一気に感染が加速する可能性が高まったために行われるものです。従って、今回は3月2日からの前回の対応より相当、厳しい制限がかかっています。まずは、「6 部活動について」ですが、すべての活動が禁止となりました。

次に、臨時休校になりますが、皆さんへの課題の指示や提出のために、週1日の登校日を設定します。「1 登校日」にある通り、生徒の通学集中を避けるために、年次ごとの分散登校とします。また、「2 登校時間」は9時20分、「3 下校時間」は12時30分完全下校とします。これは朝夕の通勤ラッシュの時間帯には絶対に公共交通機関を利用しないという観点からの時間設定となっています。また、登校日には、学校として「密閉」「密集」「密接」のいわゆる「3密」を避けるなど、感染防止対策を徹底して行いますが、生徒の皆さんもお互いに注意を合ったり、この後、養護教諭の先生からのコロナウイルス対策をしっかりと守ってください。

※4月10日から登校日は取りやめになりました。

次に「4 登校日の登校に不安・心配を感じる場合」ですが、感染の不安・心配を理由に登校できない生徒については、保護者の同意を得て、担任の先生に相談してください。やむを得ないと私が判断した場合は、欠席扱いとしないよう配慮します。

そして、「5 学習支援について」ですが、教科別に家庭学習を指示し、登校日を利用して進捗状況を確認したり、添削指導を行います。また、「スタディサプリ」を自学自習の教材として活用してください。

「7 登校日に実施する感染予防対策」に記載の通り、(1) 校舎内では、可能な限り2方向の窓を開け、10分程度のこまめな換気を実施し、(2) 消毒用エタノールをA棟・B棟・音楽棟の出入口及びトイレ前に配置します。

また、「8 ご家庭へのお願い」に記載の通り、家庭でも臨時休校期間中は、

- (1) 毎朝の検温及び風邪症状等の確認を行い、感染源を絶つ
- (2) 手洗いや咳エチケットを徹底し、感染経路を絶つ
- (3) 免疫力を高めるため、十分な睡眠、適度な運動やバランスの取れた食事を心がけて抵抗力を高めるなどの対策をとってください。

その他、プリントに記載はありませんが、臨時休業期間中は引き続き、

- (1) 学校から皆さんへの連絡は、学校ホームページで行いますので、確実にチェックしてください。
- (2) 今回は全国一斉の臨時休業ではないことを理解し、ここで気持ちに負けて手を抜くと完全に全国のライバルから取り残されてしまうことを自覚してください。従って、通常の登校時と同様に学習時間を設定し、着実に課題をこなし、それ以外にも読書や課題研究など、普段できない学習に打ち込み、時間を有効活用してください。
- (3) そして、電車やバスなど公共交通機関での移動や人が多く集まる場所は絶対に避け、不要不急の外出を控える。つまり、緊急事態宣言が出ていることを踏まえ、遊びに行くことはしばらく辛抱してください。

以上で、プリントの説明を終わります。

なお、学校としてもあらゆる場面で苦渋の選択を迫られることが続いており、4月の遠足、5月の芦屋高校との定期戦は残念でありませんが、今年では中止とします。また、6月の県西祭も生徒部の先生方が感染対策をしながらなんとか実施できないかを、今、一生懸命考えてくださっていますが、開催は厳しいかもしれません。部活動も禁止となった今、夏の総体など公式戦が開催できない場合は、このまま引退となってしまう生徒も多くなる可能性があります。

こうした先が全く見えない時、大切なことは何でしょうか。現実から目を背けず、情報に一喜一憂せず、目の前のやるべきことに集中して、冷静に自分の進むべき道を突き進む、これしかありません。3月の講話でもお話した通り、健康・安全を最優先して、今回のピンチをチャンスに変えること、時間を大切にすることを肝に命じて、明日からの臨時休校を家庭で過ごしてください。最近、私が一番悲しく思ったことは、1万6千人以上の署名が集まった「兵庫県公立高校休校延長要請」の署名活動において、学校へ行きたくない理由の中に、「臨時休校中に遊び回っていた不真面目な生徒と一緒に机を並べて授業を受けたくない。」という生徒の声でした。本校では、ほとんどの生徒が感染しないようきちんと対策をし、真面目に辛抱して頑張っていると信じてはいますが、時々、県西の生徒が信じられない行動をとっている話も私の耳には入ってきます。世の中には多様な考え方の人がいますが、間違った考え方の人に決して流されることなく、県立西宮高校の生徒である自覚と誇りを持って、それにふさわしい態度と行動をとってください。

なお、コロナウイルスに感染しないか不安でたまらない、家族や友人のことなど、心配なことがあれば、担任の先生など身近な信頼できる先生に、勇気を出して相談してください。

もう一つ、春は出会いと別れの季節。担任の先生から配られたプリント、「令和2年度 先生の異動」のプリントにある通り、この春、長年県西で多大な功績を残された20名の先生方が去られ、代わりに19名のすばらしい先生方をお迎えしています。本来ならば、今日は着任式でお顔を合わせていただき、明日離任式で去られた先生からお話をいただく予定でしたが、それも叶いません。新たに着任された方は、どの方も県西生のために、全力で頑張ってください方ばかりですので、学校再開時の楽しみの一つにとっておいてください。

結びに、私たち県西の教職員は、これまで以上に皆さんを鍛え、伸ばします。生徒の皆さんも、しっかりとその思いに応えてください。生徒の皆さんと共に頑張り、この苦しい時期を乗り越える覚悟です。校長から生徒たちへの訴えかけは以上としますが、後は担任の先生からのさらなるご指導、よろしく願います。

以上で、前期始業式にあたっての講話とします。